

実践のためのポイント

校務のイノベーションを全職員で共有

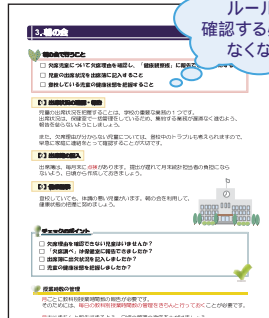
- ・学校運営の方針として全職員の参画であらゆるところから
- ・学校の実態に合った取組を「まずはやってみる」
- ・改善の蓄積と更新はルールブックで共通理解

校務改善のための具体的な取組と効果（生み出した一人あたりの時間）

- ・運営委員会の廃止と職員会議の効率化...70分/月
- ・学校評価のマークシート処理...年2回で120分/年
- ・部活動終了時刻の徹底...20分/日
- ・戸締まりは下校指導以外の教員で...30分/月
- ・校務のルールブック（図）の活用で確認作業が激減

生徒と向き合う時間を確保！

詳しくは <http://shimotyuu.school.city.shimotsuma.ibaraki.jp/> へ



実践のためのポイント

会議の思いきった再編で時間を生み出す

- ・報告、連絡が中心の「スクールミーティング」導入
- ・教科部会など協議が中心の「ミーティングタイム」導入
- ・職員会議の時間縮減

会議の効率化を全校で推進

- ・ただら会議をなくして会議をスリム化（会議の目的を明確に参加者が理解する）
- ・会議のルール作りと徹底（発言は1回3分まで、進行役は進行のみを行う等）

こんな声！
・教材研究の時間が確保できた！
・退勤時刻が約45分早くなった！

取組で先生方の改善意識も高まり、校務の効率化が進みました

詳しくは<http://www.portal.city.yuki.ibaraki.jp/7/6364.html> へ

効率化で生まれた時間（生徒と向き合う時間）

項目	時間	所要時間(1月あたり)(分)		
		改善前	改善後	削減された時間
職員会議		60	40	20
教科部会		1000	0	1000
スクールミーティング		0	480	-480
ミーティングタイム		0	80	-80
合計		1060	600	460

校務の見直しに全員で取り組んでいますか？（チェックリスト）

1 学校全体（教職員全員）での取組

課題を把握して「何を、いつまでに、どれだけ」行おうか、見直しをもって取り組んでいますか。研修や話し合いを通して、教職員の取組への意識を高める工夫をしていますか。これまで実施した見直しにも新たな手法を取り入れるなど、改善の視点をもって取り組んでいますか。OJT（On-the-Job Training）を活性化させるなど、個人のスキルを向上させる工夫をしていますか。

2 教職員一人一人ができることへの取組

会議資料等を作成する際には、強調文字で見やすくするなど、わかりやすくなる工夫をしていますか。次の担当者がわかりやすいように資料を整理したりするなど、引継ぎを工夫していますか。仕事のアイデアを提供したり、取組方法を教え合ったりするなど、お互いのスキルアップに努めていますか。先を見通した計画づくりや仕事に要する時間の設定など、時間意識をもって仕事をしていますか。

3 校務全般にかかわることとして（仕事のしやすい環境づくりや仕事のルール設定など）

必要な資料や情報等がすぐに見つけられるよう、ファイリングの工夫などを行っていますか。過去のデータを活用したり、資料を共有できるようにしたりしていますか。日頃から印刷室や資料室などの整理・整頓や校務遂行のルールが徹底されていますか。



茨城県

このリーフレットに関する問い合わせ先

茨城県教育庁義務教育課 市町村教育推進室 TEL029-301-5229